評価のポイント

CL-2.専門性の開発能力
［63-2］根拠に基づく看護実践の基本：根拠に基づくケアの必要性と選択（事例）

最近受け持った患者に対する看護実践の科学的根拠を調べてみましょう。今回の講義内容を踏まえ、どんな看護実践を選択すべきだったか、個人またはチームで考えてみましょう。

対象者が調べた看護実践の科学的根拠は、下記のようなものが望ましい。

・介入研究（実践の効果を評価する無作為化比較試験、前後比較試験など比較対象のある研究）
・ガイドラインなどの推奨

患者に対する看護実践の選択に関する議論をグループで行う場合は、以下の視点が含まれることが期待される。

・疾患や症状にまつわるケア・治療方法に関しては、比較的科学的根拠がある。
・１つのケア方法であっても、患者の状態や意向によって効果は異なることを理解し、下記の共同意思決定の要素をあらためて大切にする。
  ✓病気や状況の避けるべき重大なリスクを理解する。
  ✓予防サービスや利益、代替案、不確かさについて理解する。
  ✓サービスに関連した可能性のある利益や害だとみなされることへの自分たちの価値について熟考する。
  ✓彼や彼女が望んでいるレベル、心地よいと感じるレベルまで意思決定を行う。
・科学的根拠と患者の意向、資源等を天秤にかけ看護実践方法を選択する。